大三島小学校

週刊校長だより

## あしあと

第39号

## 令和5年2月13日



がっこう きょういくもくひょう <学校の教育目標は「すすんで励もう」です。>

3年生が代表委員会に参加するなど、次の学年に向けてのバトンタッチが始まりました。 りしっのようにあっという間に引き継ぎができるのではありませんが、上級生ががんばってきたことを、下級生が受け継ぎ、更に良いものにしていきましょう。



運営・JRC委員会の人が、額の挨拶運動をしてくれています。元気よく挨拶し合えると、お互いが爽やかな気持ちになりますね。挨拶の輪が、もっともっと大きくなっていくといいですね。

2年生が得み時間に運動場で、みんなでドッジビーをして遊んでいました。朝は寒くても、天気が良い白の電間はぽかぽかと。暖かです。昼休みには、たくさんの人が外で体を動かしていましたね。





6年生がウレッシュ会の芳と鄭士料理を作りました。 メニューはおもぶり、せんざんきなど、地域に伝わるものばかりです。お家でも、海家族と一緒に作ってみてはいかがでしょう。5年生も13首に続います。

「囲碁」を知っていますか。縦横に 19本ずつの線が引かれた盤の上に、白黒の岩を交互に置き、陣地を取り合うゲームです。囲碁の日本一を争う大会がいくつかありますが、その一つの「女流棋聖戦」が先週 行われ、仲呂 菫 さんが勝って、今までで最年少の優勝者になりました。仲邑さんは今13歳。中学 2年生です。3歳から囲碁を始め、10歳(小学4年生)の時には、囲碁では最年少のプロになりました。

(中邑さんは、碁盤の前に何時間でも座っているという粘り強さと、 上ゅうちゅうりょく 集中力がすごいのだそうです。 一つのことに打ち込むっていいですね。